

展示会だより

■下水道展 '18北九州

今年度の下水道展は2018年7月24日（火）～27日（金）、北九州市の西日本総合展示場にて開催され、当社は神鋼環境メンテナンス（株）と共同出展しました。出展数277団体、来場者数約31,000人を数え、当社ブースには約1,000名のお客様が来訪されました。

今回のブースは、当社の注力事業である省エネ・創エネ・長寿命化技術の紹介、運転維持管理の取組み、海外展開を3つの柱として展示を行いました。

省エネ・創エネ・長寿命化技術については銅板製消化槽、樹脂製汚泥掻寄機、反応槽用槽上攪拌機（パビオミックス、パビオエアレータ）に加え、以下設備メニュー・実証研究について新たにパネル展示しました。

- ・低圧損型メンブレン式超微細気泡散気装置「PABIO TUBE」（散気装置実機も展示）
- ・省エネ機器とアンモニア制御による低動力反応タンクシステム
- ・環境配慮型創エネ焼却システムに関する共同研究
- ・高濃度消化・省エネ型バイオガス精製による効率的エネルギー利活用技術実証研究

とくに、PABIO TUBEについてはノベルティとしてクリアファイルを配布し、ご来訪のお客様に新規製品PRを行いました。併催の下水道研究発表会で、PABIO TUBE および低動力反応タンクシステムについて研究発表を行ったことも後押しとなり、多くのお客様からご質問をいただき、新規製品に関心をいただくことができました。

運転維持管理の取組みについては、当社の下水道施設における包括的な運転維持管理の実績を展示しました。また、海外展開の取組みについて、ベトナムで受注した下水処理場案件を紹介しました。

